

茂木地区年表



茂木の港

※ 右側を流れる川は若菜川で、河口から弁天橋、若菜橋、南川橋が写っている。南川橋の上流に茂木小学校があり、昭和22年からグラウンド東側の木造2階建て校舎2棟を茂木中学校が使用していた。その1棟を昭和24年10月に移転のため解体している。この写真には写っていない。

また、弁天橋の左の大きい建物は、大正13年に完成した枇杷集散場である。この枇杷集散場は、昭和27年2月11日に焼失している。

以上のことから、この写真が約60年前に撮影されていることがわかる。

西暦	年号	項目
往古		歴史的沿革は詳かでない
994年	正暦5年	大村直澄領となる
1580年	天正8年	領主大村純忠、長崎村及び茂木村をイエズス会に寄進
1587年	天正15年	豊臣秀吉、イエズス会より没収する
1614年	慶長19年	徳川幕府領となる
1616年	元和2年	松倉豊後守重政、大和国五条より来て領する
1626年	寛永3年	八武者権現（片町）、山王権現（日吉）、山神（木場）、稲荷大明神（田上）、三宝荒神（宮摺）、加茂大明神（大崎）、明竈大明神（千々）を松倉豊後守の時建立。
		松尾山玉台寺 開山
1638年	寛永15年	高力撰津守忠房が遠州浜松から島原領主として来て領地とした
1657年	明暦3年	石働山観音寺（禅宗）、松原山田上寺（浄土宗）創立
1665年	寛文5年	茂木海岸に浦見番所設置
1668年	寛文8年	幕府領となり、長崎代官の管轄下に庄屋を置く
1706年	宝永3年	7月 汐見崎観音堂 開山（松月庵）
1720年	享保5年	島原藩領となる
1722年	享保7年	田上の合戦場に石火矢射的場をつくる
1768年	明和5年	長崎高木作右衛門忠興の所領となる
1769年	明和6年	茂木街道に江波市左衛門、温石石を敷く
1795年	寛政7年	9月23日正午出火、245戸焼失
1833年	天保4年	天保8年迄 千々名藤田尾と佐賀領為石村の境を協定する
1839年	天保10年	寺小屋創設（林宗平次、佐々木和兵衛）
1844年	弘化元年	茂木一口香創業
1858年	安政5年	6月 柳山の石橋を長崎出来鍛冶屋町の竹内億介、東築町の蒲池喜兵衛が私費をもって架ける
1859年	安政6年	森秀二郎 寺小屋をはじむ
1860年	万延元年	4月9日 山川河内で山崩れ 33名死亡
		11月26日 火災発生、344軒焼失
1868年	慶応4年	4月 裳着神社と改められる
1872年	明治5年	長崎県高来郡第二区第七小区に編入される
1874年	明治7年	裳着神社、村社となる
		深堀、高浜、野母、脇岬、樺島、川原、為石、布巻を含めて一大区となる
		7月8日 南川森永喜代太氏宅を借りて公立小学校を創立。第五大区第二大区第一中学区茂木小学校と称す
1875年	明治8年	1月 茂木小学校、片町の旧庄屋に移す
1876年	明治9年	夏 茂木小学校、借家の期限満了後、教員宅で分散教授
1878年	明治11年	一大区 八ヶ村に分離する
1879年	明治12年	7月 郡制施行により西彼杵郡茂木村となる

西暦	年号	項目
1880年	明治13年	9月 茂木小学校、校舎を本町の前田勘四郎宅に移す
1881年	明治14年	1月 茂木小学校、公立初等茂木小学校と改称、各名に分舎を設置
		柴田俊道、円成寺(日蓮宗)を 開山
1882年	明治15年	1月 木場名の松本傳次郎宅を借り、中等茂木小学校木場分校を設置(木場、田上、田手原の3名を通学区域とする)
		茂木小学校千々、藤田尾分校創立
1883年	明治16年	中等茂木小学校木場分校、校舎を木場名地藏堂に移す 田上名氏神拝殿と田手原名若杉吉松宅にそれぞれ分舎を置く
		11月 公立初等茂木小学校、中等茂木小学校と改称
1884年	明治17年	木場分校を渡邊徳次郎宅に移すと同時に田上と田手原の両分舎を廃止
1885年	明治18年	長崎、茂木間の旧県道開通
		中等茂木小学校、校舎を旧庄屋に移す
1886年	明治19年	4月 大崎分教場、宮摺分教場、早坂分教場、千々分校、藤田尾分校それぞれ簡易小学校と改称。早坂簡易小学校、田手原名に分校設置
		6月 中等茂木小学校、尋常茂木小学校と改称
		尋常茂木小学校、校舎を片町に移す(浦川伝吉宅)
1888年	明治21年	尋常茂木小学校、校舎を新田に移す
1889年	明治22年	茂木村役場を本郷片町に移す
1891年	明治24年	日吉小学校、飯香浦校舎を新築し、太田尾小学校と改称
1892年	明治25年	4月 茂木尋常小学校、早坂尋常小学校とそれぞれ改称
		千々尋常小学校、藤田尾尋常小学校と改称
1894年	明治27年	千々、藤田尾両尋常小学校が合併して千藤尋常小学校と改称
1895年	明治28年	4月3日 茂木尋常小学校、現在地に新校舎を建て、開校
1896年	明治29年	6月10日 茂木尋常小学校、茂木尋常高等小学校と改称
		9月 早坂尋常小学校、新築校舎落成。田手原分校を廃止
1898年	明治31年	10月1日 古賀浦(現:潮見町)及び小崎(現:春日町)を日見村に編入
1899年	明治32年	大崎簡易小学校、宮摺簡易小学校を合併して大宮尋常小学校と改称
1900年	明治33年	千藤尋常小学校千々名万田13番地に新築移転
1901年	明治34年	8月 棧橋用突堤築造 (長さ45間、幅2間、高さ平均2間5合)
1906年	明治39年	道永エイ、茂木ホテル開業
1908年	明治41年	日吉小学校、日吉尋常小学校と改称
1914年	大正3年	長崎商船茂木～小浜航路 開設
1919年	大正8年	10月1日 町制施行 茂木町となる
1920年	大正9年	7月～9月 本町にコレラ流行し、80余名の死者を出す
1921年	大正10年	9月19日 「茂木鉄道株式会社」設立
1922年	大正11年	若菜橋架け替え

西暦	年号	項目
1923年	大正12年	堀切、海岸埋立工事開始
		3月 飯香浦道路第一期工事完成（長崎～六本松）
		5月 大川橋架け替え
1926年	大正15年	茂木・北浦間の堀切開通
1927年	昭和2年	3月 汐見崎防波堤竣工（延長110間、175,000円）
		日吉小中学校、日吉尋常高等小学校と改称
1932年	昭和7年	本町海岸埋立工事竣工 11,168坪（227,500円余、茂木港内浚渫16,100坪余）
1933年	昭和8年	3月 弥生道路完成
		8月 茂木港内新棧橋竣工（34,800円）
1934年	昭和9年	新県道 長崎～茂木間開通
1935年	昭和10年	弁天橋架橋
1936年	昭和11年	4月28日 「長崎茂木乗合自動車株式会社」創業
1938年	昭和13年	3月 山川河内線 道路完成
		5月 早坂尋常高等小学校と改称
1940年	昭和15年	飯香浦道路第二期工事完了 日吉小学校前まで
1941年	昭和16年	茂木国民学校、早坂国民学校、日吉国民学校とそれぞれ改称
1947年	昭和22年	4月1日 藤田尾名を為石村に編入
		4月1日 学制改革により茂木小学校、早坂小学校、日吉小学校と改称
		4月1日 茂木町立茂木中学校 創設（日吉・千々の2分校を置く）
1948年	昭和23年	4月1日 茂木町立茂木中学校 早坂分校増設
1949年	昭和24年	9月20日 長崎県立東高等学校茂木分校開校（茂木小学校に仮教室）
		山川河内線 道路完成
1950年	昭和25年	3月22日 長崎県立東高等学校茂木分校、茂木中学校仮教室へ移転
		10月31日 茂木中学校日吉分校、日吉中学校として発足
1952年	昭和27年	3月31日 千藤小学校、大宮小学校廃校
		4月1日 茂木町立南小中学校創設
		7月22日 茂木小学校宮摺分校 新設
1953年	昭和28年	4月18日 長崎県立東高等学校茂木分校、独立校舎完成移転
1954年	昭和29年	茂木交通有限会社設立 茂木～大崎～千々に発動機船を運航
1957年	昭和32年	9月 茂木～三角航路の廃止、富岡航路のみとなる
1962年	昭和37年	1月1日 長崎市編入。 （茂木町：人口14,272人・2,661世帯、面積34.30k㎡）
		8月 茂木小学校宮摺分校廃止
1966年	昭和41年	茂木～飯香浦 道路完成
1968年	昭和43年	4月1日 早坂小学校廃校、愛宕小学校開設。早坂校舎として継続使用 （翌年1月8日小島校舎とともに分校舎を廃止し、本校舎へ統合）

西暦	年号	項目
1969年	昭和44年	早坂中学校廃校 小島中学校へ
		3月31日 県立長崎南高校茂木分校となる
1970年	昭和45年	4月 県道長崎茂木線が、国道指定。(国道324号)
1971年	昭和46年	2月1日 茂木地区の大字(名・郷)の名称を町に変更 茂木町(本郷)、田上町(田上名)、早坂町(木場名)、北浦町(北浦名)、 飯香浦町(飯香浦名)、大田尾町(大田尾名)、田手原町(田手原名)、 宮摺町(宮摺名)、大崎町(大崎名)、千々町(千々名)
		3月24日 日吉青年の家 完工落成式、4月1日開館
1972年	昭和47年	4月5日 北浦町のびわ畑で、茂木ビワ原木記念碑除幕式
		12月24日 市及び周辺の12農協のうち10農協が合併して、「長崎農協」 発足(滑石・茂木・戸石・式見・古賀・大田尾・三和町・三和町川原・ 野母崎町・三重村)
1973年	昭和48年	7月27日 市教委、竈神社の大クスを市天然記念物に指定
1975年	昭和50年	6月26日 市教委、飯香浦地蔵まつり飾りそうめん、大田尾地蔵まつり飾り そうめんを市無形文化財に指定
		12月5日 市教委、北浦の俵かたげ及び獅子踊りを市無形文化財に指定
1977年	昭和52年	4月 県立長崎南商業高等学校開校(長崎南高茂木分校から商業科の高校と して独立)
1978年	昭和53年	3月20日 市教委、太田尾の大クスを市天然記念物に指定
		4月1日 老人福祉センター「わかな荘」設置
		12月21日 橘湾にタンカー石油備蓄開始(10隻中の2隻入港)
1979年	昭和54年	4月 茂木港にフェリー埠頭竣工 ※九州商船が茂木天草航路フェリー運航開始(客船は昭和初期から)
		5月10日 市教委、宮摺山神の社叢(しゃそう)を市の天然記念物に指定
		7月27日 県教委、茂木植物化石層を県の天然記念物に指定
1981年	昭和56年	3月30日 茂木合同庁舎完成、オープン(総工費約2億6千万円)
		4月25日 落成式
		11月 ビワの新品種が農水省の育成農作物新品種に指定され、「白茂木」と 命名される
1982年	昭和57年	7月23日 長崎大水害、地区内被害 死者3、橋梁流失8、浸水家屋817
1983年	昭和58年	4月30日 茂木商工会館落成祝賀会
		「長崎天草フェリー」会社 天草航路運航
1984年	昭和59年	5月25日 大崎町の山中で、石鍋製作所遺跡が見つかる
		5月 茂木地区(現恵比須・北浦新生自治会区域)埋立造成工事竣工
1986年	昭和61年	11月 若菜橋架け替え
		12月 「安田産業汽船」が高速船とともにフェリー運航
1991年	平成3年	4月1日 県道野母崎宿線のうち茂木～千々間の全線開通(供用開始)
		4月2日 県道野母崎宿線のうち茂木～日見間の全線開通(供用開始)

西暦	年号	項目
1992年	平成4年	7月弁天橋架け替え
1995年	平成7年	10月31日 田上町の一部で住居表示実施（田上1丁目～4丁目）
1998年	平成10年	6月22日 豪雨災害により県道野母崎宿線（宮摺町内）の一部が崩落
		10月22日 復旧、交通規制解除
2002年	平成14年	1月15日 「宮摺トンネル」竣工（供用開始）
2004年	平成16年	3月6日 茂木港埠頭へ“茂木百年桜”植樹、記念祭開催
		3月 ながさき出島道路（国道324号出島バイパス）開通、長崎自動車道の延伸とともに供用開始
		11月 茂木天草航路フェリーが休止（高速船は継続）
2006年	平成18年	4月1日 茂木天草航路フェリーが運行を再開（高速船に替わり）
		9月1日 豪雨災害で県道野母崎宿線（茂木宮摺間）の一部が崩落 19年7月末復旧
		9月2日 「もぎたて新鮮市」をフェリーターミナル内に開設
		9月17日 台風13号により茂木地区一帯に塩害発生。びわ収穫は例年の約4割
2007年	平成19年	3月23日 茂木交番所廃止後の施設に「片町・安全・安心・交流センター」を開所
		3月末 県道34号の茂木中心部の歩道片側を拡幅改良
		4月1日 茂木商工会が合併により「東長崎商工会茂木支所」へ
		7月11日 県道野母崎宿線（立石バス停付近）の道路のり面が崩落 13日間バス不通
2008年	平成20年	3月 県立長崎南商業高等学校閉校
2011年	平成23年	2月13日 主要地方道長崎南環状線（新戸町～田上）開通
		9月30日 茂木、富岡間フェリー廃止
		10月1日 茂木、富岡間高速船就航
2012年	平成24年	3月12日 北浦町から恐竜の化石発見と公表